



えんちょうのふでばこ

「幼稚園教育死にたまふことなかれ
―少し与謝野晶子詩歌集風に―」

ああ幼稚園よ君を泣く

君死にたまふことなかれ

学校教育の末子として生まれし君なれば

親のなさは何にも勝って滋しむ

文部科学省、中央教育審議会は何もわかっていない。子どもの好きなことなんてわからない。子どもが何かを見つけたり、知ろうとして遊んでいる大事ななんてわからない。子どもはたくさん本を読んでもらっているいろんな人生のストーリーを知りたいなんて少しもわからない。

そんな時間もあったいと思っている。子どもには思い出して見るといいお父さんとお母さんだったな・・・なんていう暇もあまりない。

子ども達がこの世に生を受けてから将来の長い年月にわたって心に残るこの時代の教育が教育のスタートです。おろそかにしないで、育てて行きたいと切に思います。

十月十七日、精鋭の子ども達の運動会を是非期待して下さい。

遊戯室横の中庭で、大きな
「とちの実」が採れました！

